

地場に密着し、「広告・印刷」に関するあらゆる媒体で利用者目線に立った高品質なサービスを提供

同社は、官公庁・地元企業を顧客に広報誌、パンフレット、名刺・封筒等を提供している、1963年設立の地場大手印刷会社である。「紙」を始めとした二次媒体を通じて「つながる、つたわる」をコンセプトに一般消費者と企業のコミュニケーション活動のサポートを事業の柱とし、デジタル化・ネット化等時代の変化に即座に対応している。現在は紙媒体以外にも、ウェブサイト製作、デジタルサイネージ、映像製作等、「広告・印刷」に関するあらゆる媒体を手掛けている。

所在地	北海道室蘭市中島町4丁目12番15号	設立	1963年
電話/FAX	0143-43-2121/0143-43-2191	資本金	1,000万円
URL	https://hokkai-print.co.jp/	従業員数	40人
代表者	代表取締役社長 徳永 賢二		



「量」に左右されない高品質製品の提供

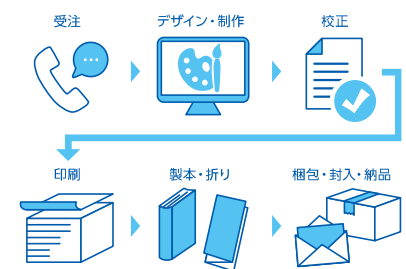
高齢化社会を迎える日本では、高齢者への配慮はもちろん、障害者や子供、外国人への配慮も求められている。同社は、さまざまな用途に柔軟に対応可能な印刷機やプリンターを有し、「デザイン」「文字の使い方」「色の使い方」等にさまざまな配慮や工夫を加えることで、見やすいメディアの提供を可能とし、利用者が必要とする情報をわかり易く伝えることを心掛けている。設備としては、最新鋭のオフセット印刷機を導入し、5,000部から1万部以上の大ロット印刷にも迅速かつ高品質で対応できる技術を有している。



A全判高速オフセットカラー印刷機

現場を尊重した工程改善と生産性向上、および最適化による高品質製品の継続提供

同社では、年に数回従業員とともに作業工程の見直しを行う機会を持っており、営業・制作・ウェブ・映像・印刷・製本の各担当者の「生の声」を実際に作業工程に反映、運用させることで、作業のムダを省いている。これらの取組により、作業負担の減少やコスト削減を実現している。従業員間においては、常によりよい方法を模索する環境がある。多様（紙質・インク・ロット・湿度・温度）な印刷環境に対してでき栄えを意識し、状況に合わせて常に最適な製品を作れる技術を、熟練工から若手まで浸透させている。



デザイン制作から印刷・製本までワンストップ体制

地域密着フリーペーパー『みてネット』の提供

地元情報誌『みてネット』は、「地域密着型の企業広告媒体」として地域での認知度は高く、またポスティングで配布するという同社独自の手段から、普段新聞を読まない世代にも読まれている冊子である。同誌に自社の広告を載せたいという企業は絶えない状況にあり、地域で「創業」した企業も、まずは『みてネット』で広告を出して販促を進めるといったサイクルができあがっている。同社は、この商材を通じて新たなニーズを発掘し受注の取込みを図る等、需要獲得に結びつけている。



地元生活情報誌「みてネット」